



第21回図書館総合展フォーラム 2022年に向けた学術情報システムの持続と発展

2022年へ向けて E-CatsLibraryの描くビジョン

2019年11月12日
株式会社シー・エム・エス

会社紹介

株式会社 シー・エム・エス



設立

- 1984年4月

所在地

- 本社
東京都豊島区東池袋1-17-8 NBF池袋シティビル 3F
- 近畿サテライトオフィス
京都府京都市中京区笹屋町(東洞院通)435 京都御池第一生命ビルディング 3F

事業内容

- ・ 学術情報システムの開発・提供・保守
- ・ 仮想化サーバ構築サービス
- ・ 上記以外のソフトウェア開発

主要取引先

- ・ 日本電気株式会社(NEC Corporation)、関連会社
- ・ 国立機関
- ・ 独立行政法人
- ・ 私立大学
- ・ 書店
- ・ 出版社

(敬称略)

学術情報システム E-CatsLibrary 開発の変遷

Version1.0

- My Library機能リリース
- ハイブリッドサーチ機能リリース

2002

Version3.0

- ISBN13桁化に完全対応
- 電子ジャーナル管理機能リリース

2005

Version5.0

- メタデータ管理機能リリース
- 帳票をすべてPDFに変更
- 次世代OPAC機能リリース

2013

Version2.0

- 書店連携機能リリース
- セキュリティ対策を強化

2004

Version4.0

- Javascript+Ajax、Strutsを採用
- 画面デザインを一新

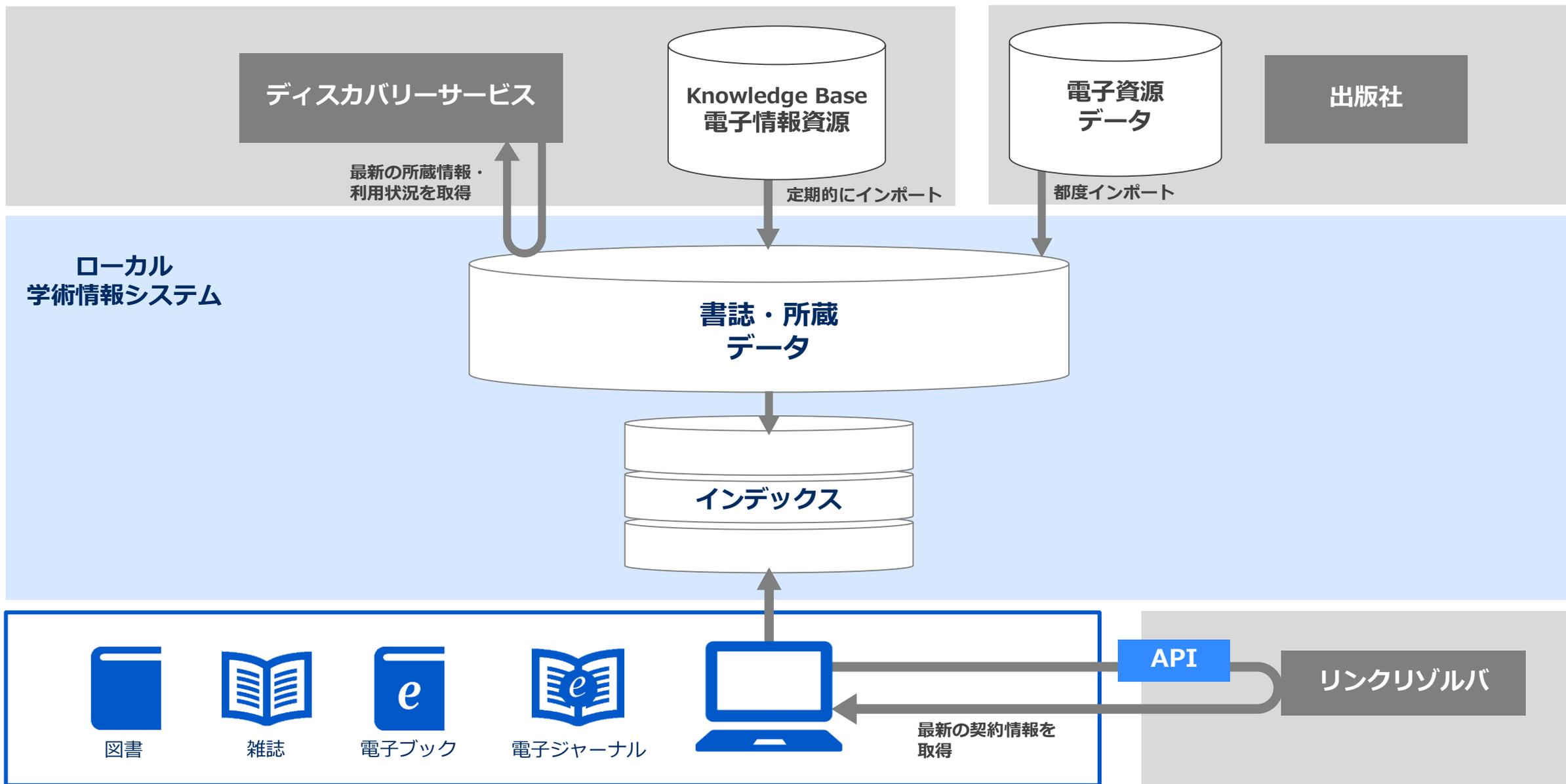
2008

Version6.0

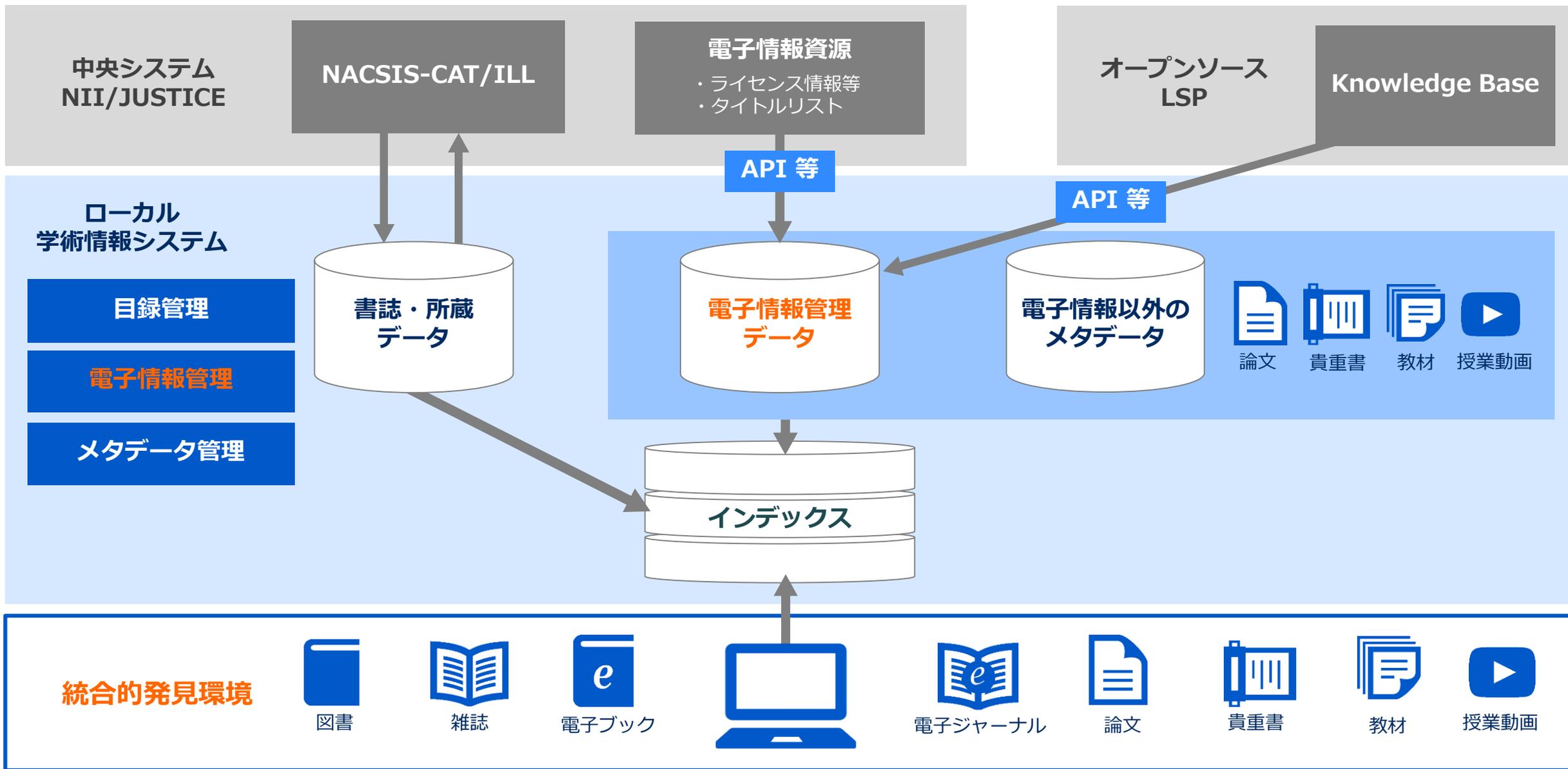
- HTML5を採用
- OPACのコンテンツ管理機能リリース
- 画面デザインを一新

2017

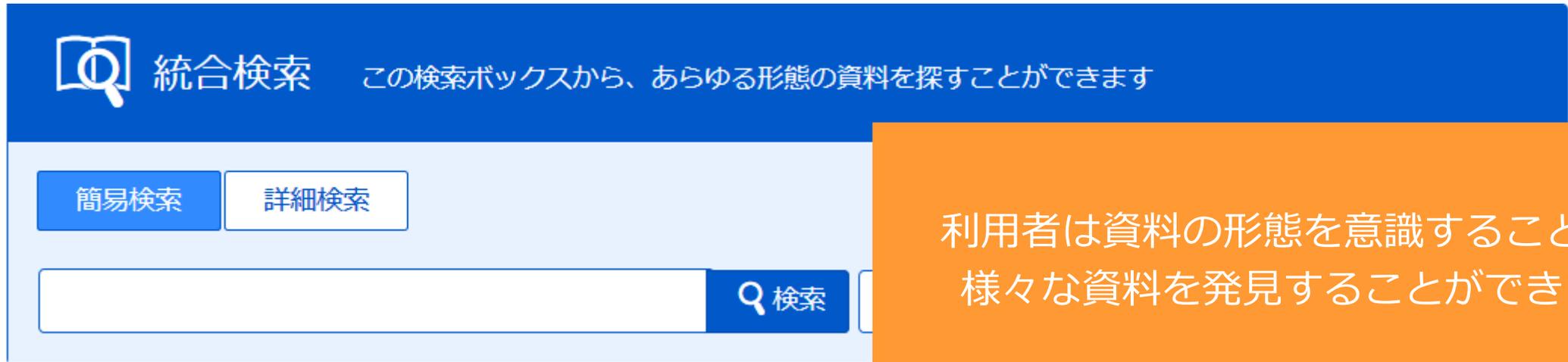
これまでの電子資源への対応



E-CatsLibraryの描く 2022年のビジョン



利用者は何ができるようになるのか？



利用者は資料の形態を意識することなく
様々な資料を発見することができます

統合的発見環境



図書



雑誌



電子ブック



電子ジャーナル



論文



貴重書



教材



授業動画

図書館は何ができるようになるのか？

中央システムから取得される
電子情報管理データ項目のイメージ



契約情報

契約形態

購入価格

出版社

予算

...



ライセンス情報

ライセンス期間

アクセス権

形態

利用条件(複製・ILL・Walk in user・リモートアクセス)

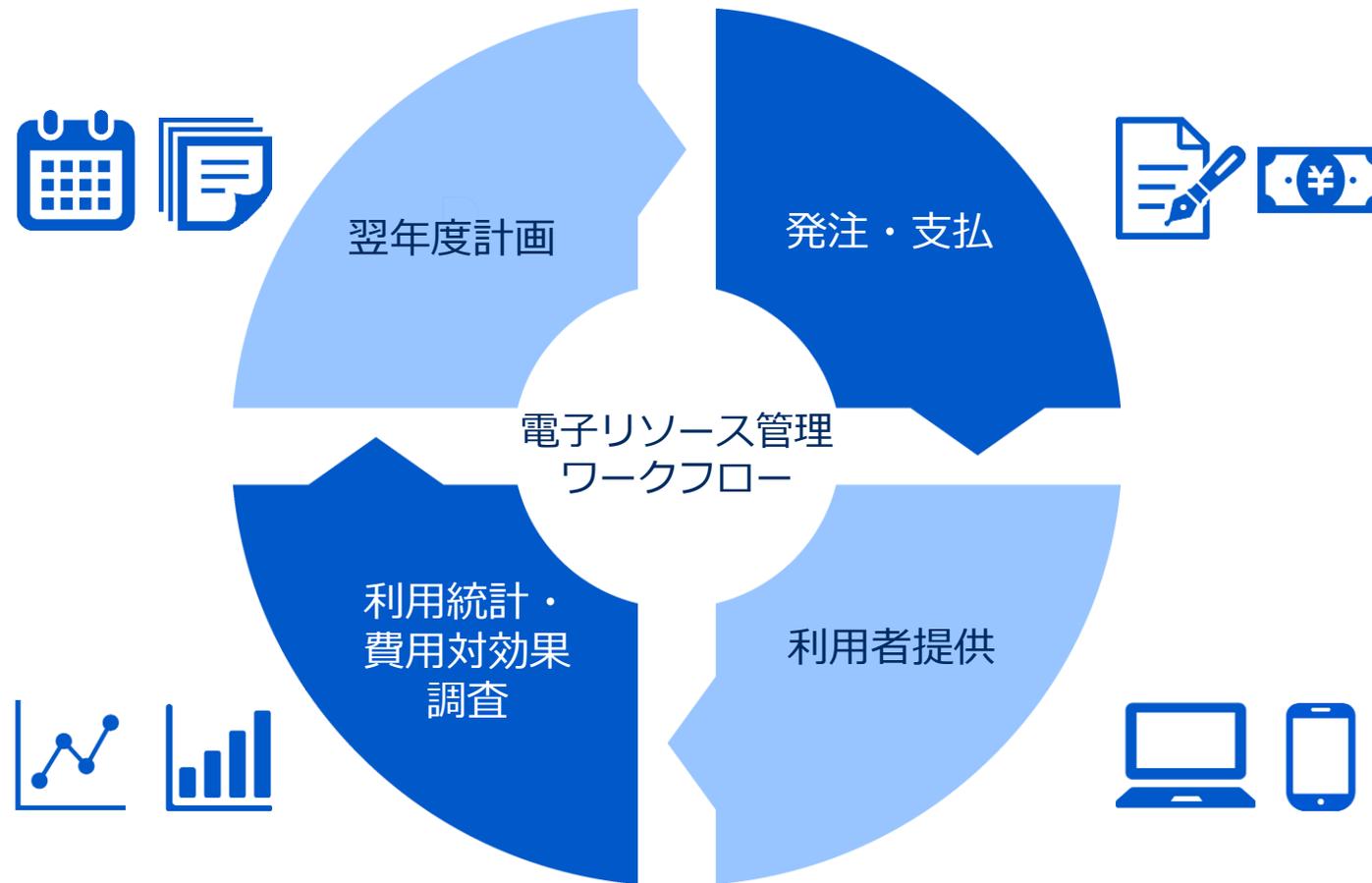
...

中央システムから電子情報管理データを取得できることで以下の可能性に期待できます。

- ・ローカル学術情報システム内での簡易的な電子契約情報管理
- ・ライセンス情報等を元にした利用者からの問い合わせへの対応

さらなる将来的な構想

将来的に中央システムより電子資料の利用統計情報が取得できるようになれば、翌年度購入の判断材料等に活用できるような利用統計等への対応についても検討してまいります。



最後に

国立情報学研究所様におかれましては、今回このような機会を頂戴し大変感謝いたします。

本日は触れませんでしたでしたが学術情報システム利用の各機関様においては、予算の減少・スタッフの減少・外部への業務委託化という大きな課題があります。

弊社はこの課題につきましてもシステムの共同利用・ワークフローの標準化等、前向きに取り組んでまいります。

微力ながら今後も社会の公器となるべく、全ての課題に取り組んでまいりますので、ご支援の程よろしく申し上げます。

ご清聴いただき誠にありがとうございました。